

Book

人工超知能に進む中国 未来は米国のAI政策次第

評者・スクウェアイブ代表 黒須豊

AIの未来は、米国のGMFIA (Google、Microsoft、Amazon、Facebook、Apple)と中国のBAT (Baidu、Alibaba、Tencent)の合計9社(BIG NINE)が握っているというのが著者の見立て。

現在、各社のAIはANI (特化型人工知能)と呼ばれる段階にあり、人間以上のタスク実行に重点が置かれている。将来的には、AGI (汎用人工知能)、ASI (人工超知能)へと進化するというGMFIAに対する米国

政府の関与は希薄である一方、BATは中国政府の覇権国家としての野望に支配されているとする。著者はいくつかのシナリオを提示する。米国のAI政策、対中国戦略次第では、民主主義陣営の未来はかなり悲劇的なものになる。

中国がAI覇権国家化に向けて巨額投資を継続すること、を前提に、最悪のシナリオでは、中国が危険なASIの開発に成功、そのASIが中国生き残りのために米国とその同盟国を根絶する指令を出す。やがて民主主義陣営の人々は

次々と病に倒れる。未来の感染症流行は完全にASIが制御しているからである。

楽観的なシナリオでは、中国の野望に気付いた米国がGMFIAの協力を得て、GAIと呼ぶAIを公共財として守るためのグローバル同盟を、G7を中心に形成する。ここでは、進化したAGIによって、人々はより健康的な生活を謳歌する。そして、人類は危険なASIの開発はしないと決断することになる。

以上は、1人の未来学者の予測に過ぎないが、決して荒唐無稽とは言えない。AIを専門とする者として、歴史を含めてAIの脅威と可能性を理解したい人にお薦めしたい1冊である。



BIG NINE 巨大ハイテク企業と AIが支配する人類の未来

エイミー・ウェブ 著 / 稲垣みどり 訳

光文社
1800円+税 / 376ページ

Profile

Amy Webb

米国の未来学者で、ニューヨーク大学スターン・ビジネススクール教授として戦略的未来予測について教えている。著書に『シグナル——未来学者が教える予測の技術』。